

令和7年度 農作物病虫害発生予察9月月報

令和7年(2025年)10月 1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (℃)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	29.0	25.6	3.4	34.5	30.8	3.7	25.1	21.7	3.4
9.2	28.4	24.9	3.5	34.4	30.2	4.2	24.5	21.0	3.5
9.3	27.3	24.1	3.2	32.3	29.4	2.9	24.4	20.1	4.3
9.4	26.7	23.1	3.6	31.8	28.6	3.2	23.3	19.0	4.3
9.5	24.5	22.1	2.4	28.6	27.6	1.0	21.3	17.8	3.5
9.6	23.7	21.2	2.5	28.8	26.7	2.1	19.6	16.8	2.8
平均・計	26.6	23.5	3.1	31.7	28.9	2.9	23.0	19.4	3.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	1.5	34.3	△ 32.8	35.2	26.7	8.5			
9.2	49.5	31.5	--	31.0	26.0	5.0			
9.3	60.5	29.7	30.8	15.9	25.5	△ 9.6			
9.4	22.0	29.0	△ 7.0	25.2	25.5	△ 0.3			
9.5	26.0	28.6	△ 2.6	18.4	25.5	△ 7.1			
9.6	102.0	26.9	75.1	15.1	25.5	△ 10.4			
平均・計	261.5	180.0	63.5	140.8	154.7	△ 13.9			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 「コシヒカリ」等の早生品種では、降雨の影響から収穫作業の遅れが生じていたが概ね終了。収量は平年並～やや良の見込み。また、中生品種の出穂期は平年並、穂数は平年並～やや多い。成熟期は概ね平年並の見込み。
- (2) ダイズ : 6月播種は子実肥大期、7月播種は子実肥大始め。着莢がやや少なく、干ばつによる落花・落莢が散見され、一部ほ場では、著しく生育が阻害された。
- (3) カンキツ : 果実肥大は概ね平年並～やや大きい。7月以降高温が続いたことから、日焼け果の発生が多く、乾燥状態後の降雨による急激な肥大により裂果が一部発生している。糖度は概ね平年並～やや高く（一部品種を除く）、酸度は低い傾向にある。
- (4) ナシ : 果実肥大は品種・産地でばらつきが見られ、平年並～やや小さく、糖度は概ね平年並。
- (5) キャベツ : 8月下旬頃から9月下旬にかけて定植が行われた。定植後の降雨で活着は良好なほ場が多いが、一部排水が悪いほ場では生育不良の株が見られた。
- (6) イチゴ : 定植作業は9月下旬頃までに行われた。気温の下降に伴い花芽分化時期は平年並となった。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病（穂いもち） (調査ほ場数：中旬56 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率24.5%（平年25.2%）、発病株率7.4%（平年7.0%）、発病穂率0.8%（平年1.3%）、被害度0.5（平年0.9）で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%（平年31.0%）、発病株率15.2%（平年10.9%）、発病穂率2.3%（平年2.4%）、発病度1.2（平年1.8）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 2,813
紋枯病 (調査ほ場数：中旬60 下旬35)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%（平年28.1%）、発病株率9.8%（平年6.1%）、発病度5.1（平年2.4）で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9%（平年33.3%）、発病株率21.1%（平年7.6%）、発病度11.6（平年3.0）で平年に比べやや多かった。一部のほ場で多発生が見られた。	県内全域	多 433 中 649 少 3,246 計 4,328
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.7%（平年37.2%）、発病株率45.3%（平年20.2%）、発病度11.7（平年5.3）で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率74.3%（平年48.2%）、発病株率50.7%（平年29.9%）、発病度14.8（平年8.4）で平年に比べ多かった。	県内全域	多 216 中 4,111 少 5,626 計 9,953
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年0.1%）、発病株率0%（平年0.0%）、発病度0（平年0.0）で平年並みであった。	—	—
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年0.3%）、発病株率0%（平年0.0%）で平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：中旬54 下旬16)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.9%（平年3.2%）、発病株率3.9%（平年0.5%）、発病穂率0.3%（平年0.0%）で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率43.8%（平年2.5%）、発病株率9.5%（平年0.2%）、発病穂率0.5%（平年0.0%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 3,895
稲こうじ病 (調査ほ場数：中旬48 下旬33)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.1%（平年6.8%）、発病株率0.0%（平年1.0%）で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6%（平年20.4%）、発病株率0.0%（平年2.0%）で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 216

2025年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬60、 下旬35)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平成21.5%)、10株当たり虫数0.0頭 (平成15.7頭)、10株当たり短翅型成虫数 0.0頭(平成0.9頭)で平年に比べやや少な かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平成20.7%)、10株当たり虫数0.1頭(平 年10.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平成0.3頭)で平年並みであった。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生ほ 場視認調査では、中旬調査、下旬調査共に 発生が認められなかった。	県内全域	少 1,082
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率23.3% (平成39.8%)、被害葉率0.2%(平成 1.5%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平成42.4%)、被害葉率0.5%(平成2.6%) で平年並みであった。	県内全域	中 216
			少 2,813
			計 3,029
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7% (平成1.6%)、25株あたり虫数0.0頭(平 年0.0頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.7%)、25株あたり虫数0頭(平成0.0 頭)で平年並みであった。	県内全域	少 216
ニカメイガ、イネ ヨトウ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬22)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成50.0%)、20回すくい取り虫数3.2 頭(平成1.8頭)で平年に比べやや多かつ た。主要種はクモヘリカメムシ、イネカメ ムシ、ミナミアオカメムシであった。	県内全域	多 649
			中 433
			少 1,515
			計 2,597
イネカラバエ (調査ほ場数：60)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—
ダイズ (調査ほ場数：21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平成35.8%)、発病株率25.7%(平成 21.4%)、発病度6.4(平成5.5)で平年に 比べやや多かった。	県内全域	少 543
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年37.0%)、発病株率0%(平成 26.1%)、発病度0(平成6.3)で平年に比 べ少なかった。	—	—
立枯性病害(白絹 病、黒根腐病等)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平成3.4%)、発病株率0.2%(平成 0.1%)で平年に比べ多かった。 発生の主体は、白絹病であった。	県内全域	少 125
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平成36.4%)、発病株率45.0%(平成 21.4%)、発病度9.3(平成6.0)で平年に 比べ多かった。	県内全域	中 84
			少 626
			計 710

2025年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ハスモンヨトウ (調査ほ場数21)	中旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率28.6% (平年46.9%)、1a当たり白変か所数0.3か所 (平年1.0か所)、m ² 当たり虫数0.2頭 (平年1.6頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率33.3% (平年32.0%)、1a当たり白変か所数0.6か所 (平年0.9か所)、m ² 当たり虫数0.5頭 (平年2.0頭) で平年並みであった。 齢期は若中齢が主体であった。	県内全域	中	84
			少	209
			計	293
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平年62.4%)、m ² 当たり虫数1.1頭 (平年0.6頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.5% (平年69.6%)、m ² 当たり虫数1.6頭 (平年1.1頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	376
			少	418
			計	794
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年22.6%)、10葉当たり虫数4.2頭 (平年4.8頭) で平年並みであった。	県内全域	多	42
			中	84
			少	42
				168
サヤムシガ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年5.9%)、25株当たり被害か所数は0.1 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年5.5%)、25株当たり被害か所数は0.1 (平年0.3) で平年並みであった。	県内全域	少	42
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年25.9%)、被害株率0.2% (平年5.6%) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.7%)、被害株率0% (平年0.9%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	42
ダイズ ウワバ類等のチョ ウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年77.6%)、m ² 当たり虫数0.3頭 (平年1.4頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年68.7%)、m ² 当たり虫数0.5頭 (平年0.9頭) で平年に比べやや少なかった。 主要種はウワバ類であった。	県内全域	中	209
			少	334
			計	543
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年18.9%)、m ² 当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年9.5%)、m ² 当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少	125

2025年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ フタスジヒメハムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年77.5%)、 m^2 当たり虫数10.5頭 (平年9.8頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平年83.8%)、 m^2 当たり虫数12.4頭 (平年13.7頭) で平年並みであった。	県内全域	甚 209 多 167 中 251 少 84 計 711
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.6%)、被害度0 (平年1.1) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.1%)、被害度0 (平年0.4) で平年並みであった。	—	—
ダイズサヤタマバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.0%)、被害率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年7.7%)、発病果率1.9% (平年0.7%)、発病度0.9 (平年0.2) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 54 少 107 計 161
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.2% (平年85.1%)、発病果率27.8% (平年23.6%)、発病度6.5 (平年5.6) で平年並みであった。	県内全域	中 161 少 483 計 644
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.2% (平年19.2%)、寄生葉率17.0% (平年3.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 107 多 54 中 54 少 430 計 645
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0.5%)、寄生果率0.8% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 54
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年16.0%)、寄生新梢率0.4% (平年1.6%) で平年に比べやや多かった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	少 269
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 54
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年2.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 54
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年30.5%)、寄生果率3.5% (平年2.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 54 中 161 少 54 計 269

2025年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年11.3%)、被害果率1.6% (平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 54 少 269 計 323
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年19.4%)、発病葉率1.7% (平年0.1%)、発病新梢率16.3% (平年3.6%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 20 中 7 少 14 計 41
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年22.1%)、発病葉率4.3% (平年0.8%) でやや少なかった。	県内全域	甚 8 少 8 計 16
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病葉率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年10.7%)、寄生葉率0.1% (平年0.6%) で平年並みであった。	県内全域	少 8
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.0%)、寄生葉率0% (平年0.6%) で平年に比べ少なかった。	—	—
ナシヒメシンクイ	8月26日～9月25日のフェロモントラップ (萩市) における誘殺数は74頭 (平年38.4頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	8月21日～9月20日の予察灯 (県内4か所) における誘殺数は590頭 (平年513頭) で平年並みであった。主要種はチャバネアオカメムシであった。	県内全域	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:11) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.1%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.1頭) で平年に比べ少なかった。	—	—
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年9.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少 13
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平年40.8%)、寄生株率6.7% (平年4.0%) で平年並みであった。主体は卵～若齢幼虫であった。	県内全域	甚 13 中 13 少 54 計 80

2025年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5%（平年11.8%）寄生株率1.8%（平年0.5%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	13
			少	54
			計	67
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1%（平年8.0%）、寄生株率0.2%（平年0.4%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	13
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1%（平年2.7%）、寄生株率4.2%（平年0.2%）で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	13
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3%（平年6.3%）、寄生株率1.8%（平年0.2%）で平年に比べ多かった。	県内全域	中	13
			少	27
			計	40
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3%（平年25.4%）、寄生株率0.9%（平年1.6%）で平年並みであった。	県内全域	少	40
イチゴ (調査ほ場数:3) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年3.6%）、発病株率0%（平年0.6%）、発病葉率0%（平年0.2%）で平年並みであった。	—	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年2.5%）、発病株率0%（平年0.0%）で平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%（平年21.5%）、寄生株率4.7%（平年3.5%）で平年並みであった。	県内全域	少	5
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%（平年16.8%）、寄生株率0.7%（平年0.6%）で平年並みであった。	県内全域	少	5
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年18.6%）、寄生株率0%（平年6.2%）で平年に比べ少なかった。	—	—	—
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年11.1%）、寄生株率0%（平年2.6%）で平年に比べ少なかった。	—	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平年0.7%）寄生株率0%（平年0.0%）で平年並みであった。	—	—	—
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—

2025年9月

2020年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
野菜、花き類 アブラムシ類	9月の黄色水盤トラップ(防府市牟礼)の誘殺数は106頭(前年197頭)であった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は6,553頭(前年8,013頭)であった。8月21日～9月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は6,916頭(平年9,737頭)で平年に比べやや少なかった。 表1 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>2,880</td> <td>3,586</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,225</td> <td>1,058</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>41</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,680</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,090</td> <td>2,614</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,916</td> <td>9,737</td> </tr> </table> ※8月21日～9月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	2,880	3,586	山口市阿東	1,225	1,058	萩市明木	41	207	下関市清末	1,680	2,271	柳井市伊陸	1,090	2,614	合 計	6,916	9,737	県内全域	—
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	2,880	3,586																						
山口市阿東	1,225	1,058																						
萩市明木	41	207																						
下関市清末	1,680	2,271																						
柳井市伊陸	1,090	2,614																						
合 計	6,916	9,737																						
オオタバコガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は162頭(前年138頭)であった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は1,039頭(前年111頭)であった。	県内全域	—																					
コナガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は3頭(前年0頭)であった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835) 28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp